

# 9月お誕生日のライオンの皆様 おめでとうございます。

飯田 雄一L. (13日、86) 梅若 紀彰L. (18日、69)  
佐藤 光男L. (20日、63) 玉井 重敏L. (20日、51)  
上原 勲山L. (26日、55)

皆様にとって素晴らしい一年でありますよう  
ライオンズメンバー一同祈っております。

星野新一様 入会おめでとうございます。

8月5日、第一例会にて星野新一様の入会式が行われました。奥様も同席され、正式にメンバーになられた星野Lの愛妻家としての一面を拝見することができました。星野Lは1958年11月9日生まれ、中野区立中央中学校、法政高校から法政大学へ進み、西武百貨店に入社。現在は中野区新井で不動産管理・賃貸業、ホシノアンドカンパニーの社長を務め

る一方、地元中野区での地域活性のための活動を積極的に行っております。北野神社のお祭りでは、神輿部長を10年にわたって務め、昨年は祭典委員長も務められました。

- ・薬師あいロード商店街振興組合理事長
- ・中野区商店街連合会副会長
- ・中野区保護司会
- ・東京都動物愛護推進委員



**8月11日(木) 山の日**、予定より時間は遅れましたが、中野駅南口で行われました。参加者は、安川L、石井(祐)L、都L、佐藤L、高山L、山下L、田中(清)L、高橋(万)L、L中部の9名でした。たくさんの方に参加頂きまして、有り難うございました。  
**9月は9月19日(月) 敬老の日**、**9月22日(木) 秋分の日**の2回あります。次回も多くの方のご参加お待ちしております。  
国旗委員長 中郡一雄

参加メンバー  
安川L、石井(祐)L、都L、佐藤L、高山L、山下L、田中(清)L、高橋(万)L、中郡一雄L



## 中野区立第5中学校にて薬物乱用防止教室開催。

9月3日、中野区立第5中学校において薬物乱用防止教室が開催されました。久保委員長の司会で会長挨拶、映画上映、薬物実験、野方警察の話とスムーズに進行されました。佐藤Lの「あなた達は、日本の宝です」というメッセージは、生徒達の心に強く刻まれたのではないかと思います。

### 参加メンバー

山下L、久保L、佐藤L、丸岡L、竹内L、L花堂、野方警察  
\* 次回、9月10日(土) 中野区立桃園第二小学校、中野区立第八中学校の同時開催。



## お気をつけください。

9月第2例会は26日、ヒルトン東京(新宿)で開催される**ガバナー公式訪問例会**です。振り替え例会となりますのでお間違えのないように願います。

### 注意

当日会費、別途7000円  
申込後のキャンセルは返金されませんので、ご注意ください。

重要  
ポイント

## 8月26日納涼例会が開催されました

8月26日、静岡県小田原市根府川のヒルトン小田原リゾート&スパで納涼例会が開催されました。メンバー30名、同伴者4名が参加し盛大に開催されました。また当日行われましたゴルフコンペの表彰式も行われ、今年の優勝者は田中淳正Lでした。ご参加いただきました皆様ありがとうございました。





## 「暗闇を照らすプレゼント」

バスの乗客は、白い杖を持った美しい女性が、ステップをのぼってくるのを見守っていた。34歳のスーザンが誤診により視力を失い視覚障害者になってから一年になる。

「どうして、こんな目にあわなければならぬの？」彼女は怒りに胸をたまたせて嘆いた。だが、いくら泣いてもわめいても祈っても、つらい現実が変わるはずもないことはわかってきた。視力が二度と回復しないことも・・・。

夫のマークは空軍の将校で、心からスーザンを愛していました。マークは妻にもう一度「力と自信を取り戻させよう、独立心を回復させ、仕事に復帰できるように支援しよう」と決意します。

マークは毎日車で職場まで送り迎えをしていましたが、この状況をこのまま続けるのはどう考えても無理であり、負担も大きすぎることに気がつき、スーザンが一人で通勤することを提案します。すると、スーザンは一人でバスに乗ると考えただけで震え上がりました。「目が見えないのよ！」彼女は苦々しく答えました。「どうすれば行く先がわかるの？あなたは、私の面倒を見るのがいやになったんだわ！」こう言われてマークの心は傷つきましたが、何をすべきか分かってい



ました。彼は軍服姿でスーザンがひとりで大丈夫と思うまでバスと一緒に乗って送り迎えをします。そしてある日の朝、ついにスーザンは一人でバスに乗る決意をします。二人は初めて別々に出勤しました。スーザンの気持ちも、かつてないほど明るくなってきました。

そんなある日、いつものように料金を払ってバスを降りようとする時、「あんたはいいねえ」と運転手が声をかけました。スーザンはまさか自分に言われているのではないと思っていました。不思議に思いついて聞き返しました。「どうして、いいねえなんて言うんですか？」

運転手は「だって、あんたみたいに大切にされて、守られていたら、気分がいいだろう」

しかし、スーザンには運転手の言っていることが理解できず、再度尋ねます。「どういう意味ですか？」……「ほら、今週ずっと、毎朝ハンサムな軍人が通りの向こうに立って、あんたがバスを降りるのを見守っているのじゃないか。あんたが無事に通



りを渡って、オフィスの建物に入っていくのを確かめているんだよ。それから、彼はあんたにキスを投げ、小さく敬礼をして去っていく。あんたは本当にラッキーな女性だよ」

幸せの涙がスーザンの頬をつたいます。目には見えなくても、マークの存在がありありと感じられました。

彼は視力より力強いプレゼントを毎日スーザンに与え続けていたのです。闇の世界を明るく照らす愛というプレゼントを……。



私たちライオンズクラブの活動は、こうした身近な問題を抱えている人たちの力に少しでもなればと、小さな真心からスタートしたクラブです。決して楽に運営できる活動ばかりではありませんが、中野ライオンズクラブはマークのように、闇の世界を明るく照らす存在でありたいと思います。これからも中野ライオンズクラブの活動にご協力宜しく願います。

中野ライオンズクラブ53期では会員の皆様がこれまで以上に仲良く、そして深い絆で結ばれることを願って、ささやかではありますが、皆様の日々の活動を少しでも共有できるよう、中野ライオンズ新聞を月に一度発行して参ります。

53期 会長 山下 晃司  
役員一同